

壁掛形一斉式非常放送設備

品番 **WK-705**

取扱説明書

- この説明書と添付の保証書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。そのあと大切に保管し、わからないとき再読してください。
- 保証書は必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて、販売店からお受取りください。

保証書別添



〈壁掛形・手動式・5局〉

特長

- 中小規模就寝施設に適した一斉式非常放送設備です。
- 非常時には全館一斉の非常放送が可能です。
- 非常放送のほか、業務放送も可能です。

もくじ

特長	表紙	日常業務放送のしかた	6
使用上のご注意	1	日常点検	7, 8
操作の前に	1	■点検のしかた	7
■表示ラベルの使いかた	1	■蓄電池の寿命について	8
■ラジオチューナユニット・自動アナウンサーユニットについて	1	■こんなときには	8
各部の名称と働き	2	アフターサービスについて	9
入出力端子の接続	3	放送の優先順位について	9
非常放送のしかた	4~5	定格・付属品	10
■連動一斉	4		
■手動	5		

このたびはナショナル壁掛形一斉式非常放送設備をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。

使用上のご注意

分電盤のスイッチは、絶対に切らないでください。

本機は、停電時でも放送できるよう非常電源が組み込まれており常に充電していますので分電盤等のスイッチには付属の分電盤注意ラベルをはり付け、絶対に「切」にならないようにしてください。

機器に異常があるときは

使用中にヒューズが切れたり突然音が出なくなるなど異常が生じた場合はすぐに販売店にご連絡ください。



工事は販売店に

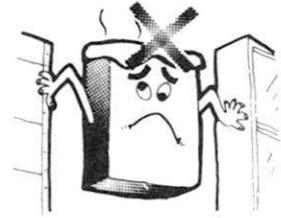
機器の移動や別売ユニットの追加には工事が必要です。必ず、販売店にお申しつけください。

また、この商品は認定品ですから絶対に改造しないでください。



機器の上や周囲に物を置かないでください。

機器の上部は通風口になっていますので、絶対に物を置かないでください。また、操作の妨げにならないよう左右0.3m以内、操作面1m以内には物を置かないでください。



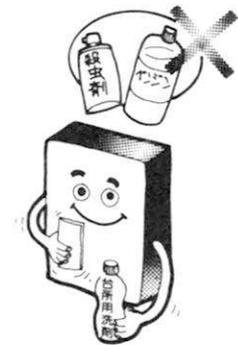
異物は故障や感電の原因になります。

機器内に金属物などが入った場合は故障や感電の原因になることがあります。万一金属物が入ったときはすぐに販売店にご連絡ください。



お手入れのとき

- ベンジンやシンナー、化学ぞうきんは絶対に使用しないでください。
(カバーが変形したり、変色することがあります。)
- ケースの汚れは乾いた布でふいてください。ひどい汚れは、水か台所用洗剤を少し布につけてふき、あとはからぶきしておきます。



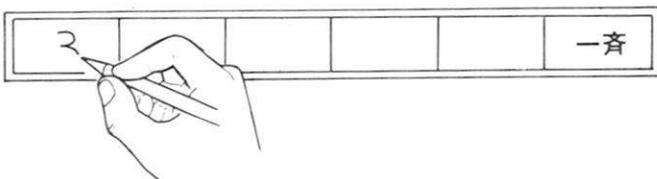
操作の前に

■表示ラベルの使いかた

※場所選択スイッチには、各スピーカの設置場所等を記入する表示ラベルがはってあります。

〈表示ラベルの記入方法〉

- 表示ラベルの記入は、鉛筆で行なうと、消しゴムで簡単に消えますので、訂正や変更が容易です。



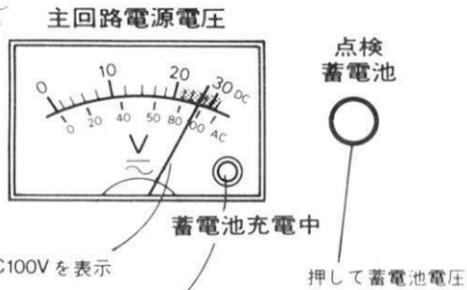
■ラジオチューナユニット・自動アナウンスユニットについて

- 別売のAM/FMラジオチューナユニット[WU-T21]、自動アナウンスユニット[WU-Z002]を組込むことができます。取付けは販売店にお申しつけください。

各部の名称と働き

主回路電源電圧計[主回路電源電圧]
蓄電池点検スイッチ[点検蓄電池]
蓄電池充電中表示灯[蓄電池充電中]

- 蓄電池点検スイッチを押した時でも、そのままの状態でも電圧計の針が緑色の範囲内であれば正常です。



通常は常用電源電圧のAC100Vを表示

充電中には点灯となります。

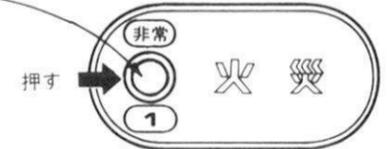
押し蓄電池電圧

非常放送は、①、②の手順でおこないます。

- ① 非常起動スイッチを押す。
- ② マイクをとり誘導放送する。

火災灯[火災]、非常起動スイッチ[非常]

- 非常放送時には必ずこのスイッチを押してください。
- スイッチはロック式ですから再びスイッチを押して戻すと非常放送が復旧します。



※非常起動スイッチを押すと、火災灯が点灯し、サイレンが鳴ります。



短絡表示灯[短絡表示]
作動表示灯[作動表示]
場所選択スイッチ

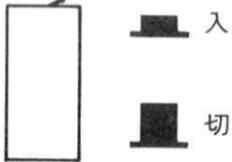
- スピーカ回線が短絡するとスピーカ回線短絡保護ヒューズが切れます。
- ヒューズが切れた状態でサイレン放送及び、アナウンス放送をすると、短絡表示灯は、音の大小により赤色に点灯または点滅します。

短絡表示
作動表示

- 場所選択スイッチを押すと緑色に点灯します。
- 一斉放送スイッチを押すとすべてが点灯します。

- 放送したい場所の選択スイッチを押します。
- スイッチはロック式ですから放送終了後は再びスイッチを押して戻します。

■……放送中
■……放送しないとき



日常業務放送電源スイッチ[日常業務放送]
電源表示灯

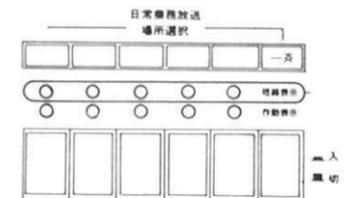
- 放送電源スイッチを押し、放送したい場所の選択スイッチを押して放送します。
- 放送電源スイッチを入れると電源表示灯が緑色に点灯します。

日常業務放送電源
緑色に点灯



日常業務放送用一斉放送スイッチ[一斉]

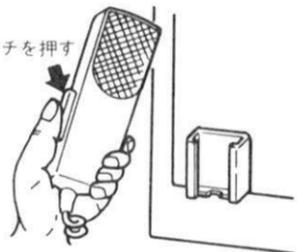
- 一斉放送するときには、一斉放送スイッチを押してください。
- 〔アッテネータ(音量調整器)付スピーカをご使用のとき、アッテネータ(音量調整器)が「OFF」の状態でも放送できます。〕



非常、日常業務放送兼用
マイクロホン

- マイクを外し、スイッチを押しながら放送してください。

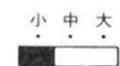
スイッチを押す



モニタスピーカ
モニタ音量切換スイッチ
[モニタ音量]

- モニタスピーカの音量を3段階に調節できます。
- マイクのスイッチを押すとモニタスピーカの音は切れますのでハウリングはおこりません。

モニタ音量



出力レベル表示灯[出カレベル]

- スピーカより流れる音の出力を表示します。
- 接続された機器の音量調節は、赤色の表示灯が点灯しないよう調節します。
- ピークレベルで赤色の表示灯が点灯、通常レベルで緑色の表示灯が点灯します。

出力レベル
赤色に点灯
緑色に点灯

外部入力音量つまみ
[外部入力音量]
外部マイク音量つまみ
[外部マイク音量]

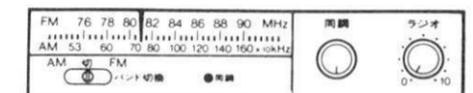
- お好みの音量に合わせます。

外部入力音量 外部マイク音量



別売ユニット組込部

- ラジオチューナユニット(WU-T21)または自動アナウンスユニット(WU-Z002)を組込むことができます。



ラジオチューナユニット[WU-T21]



自動アナウンスユニット[WU-Z002]

ご注意 自動アナウンスユニットは非常時には使用できません。

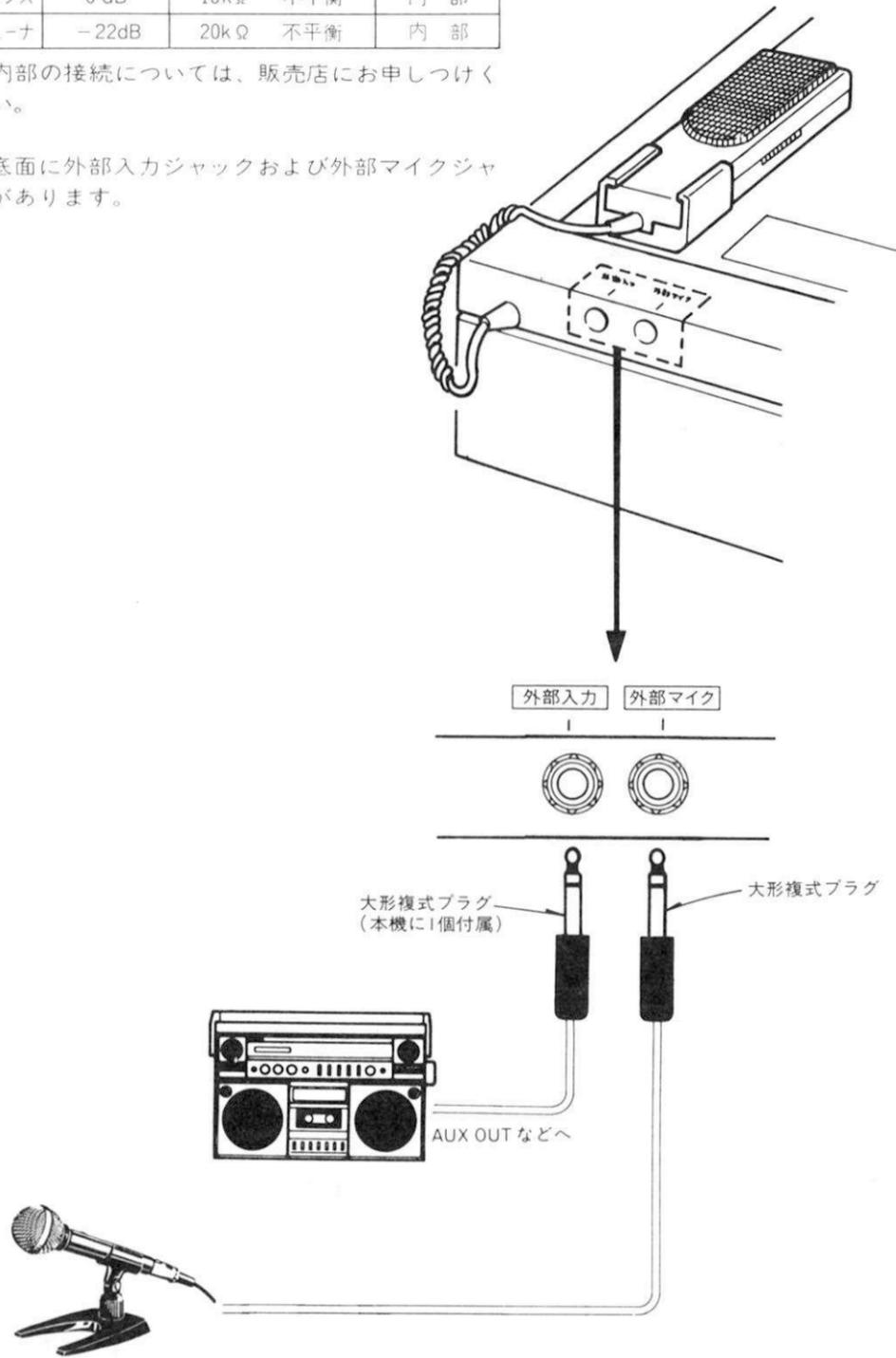
入出力端子の接続

●壁掛形一斉式非常放送設備には、本体内部と外部底面に入出力端子があります。

端子名	レベル	インピーダンス	接続部	接続部
外部マイク	-64dB	600Ω 平衡	外部	外部
外部入力	-22dB	20kΩ 平衡	外部	外部
自動アナウンス	0dB	10kΩ 不平衡	内部	内部
ラジオチューナ	-22dB	20kΩ 不平衡	内部	内部

※本体内部の接続については、販売店にお申しつけください。

●外部底面に外部入力ジャックおよび外部マイクジャックがあります。

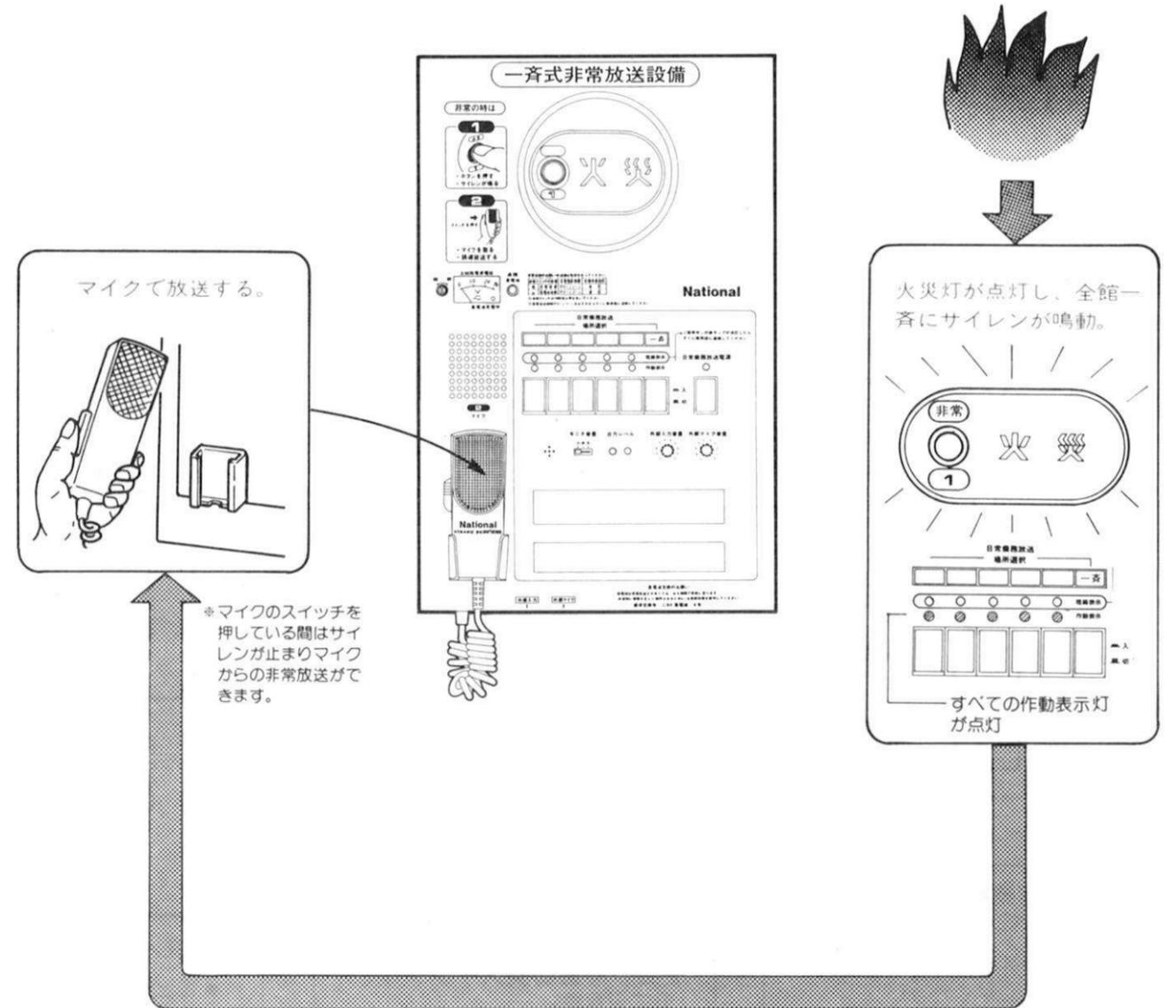


非常放送のしかた

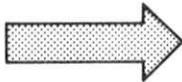
■連動一斉

➡ 太い矢印は操作の手順を示します。

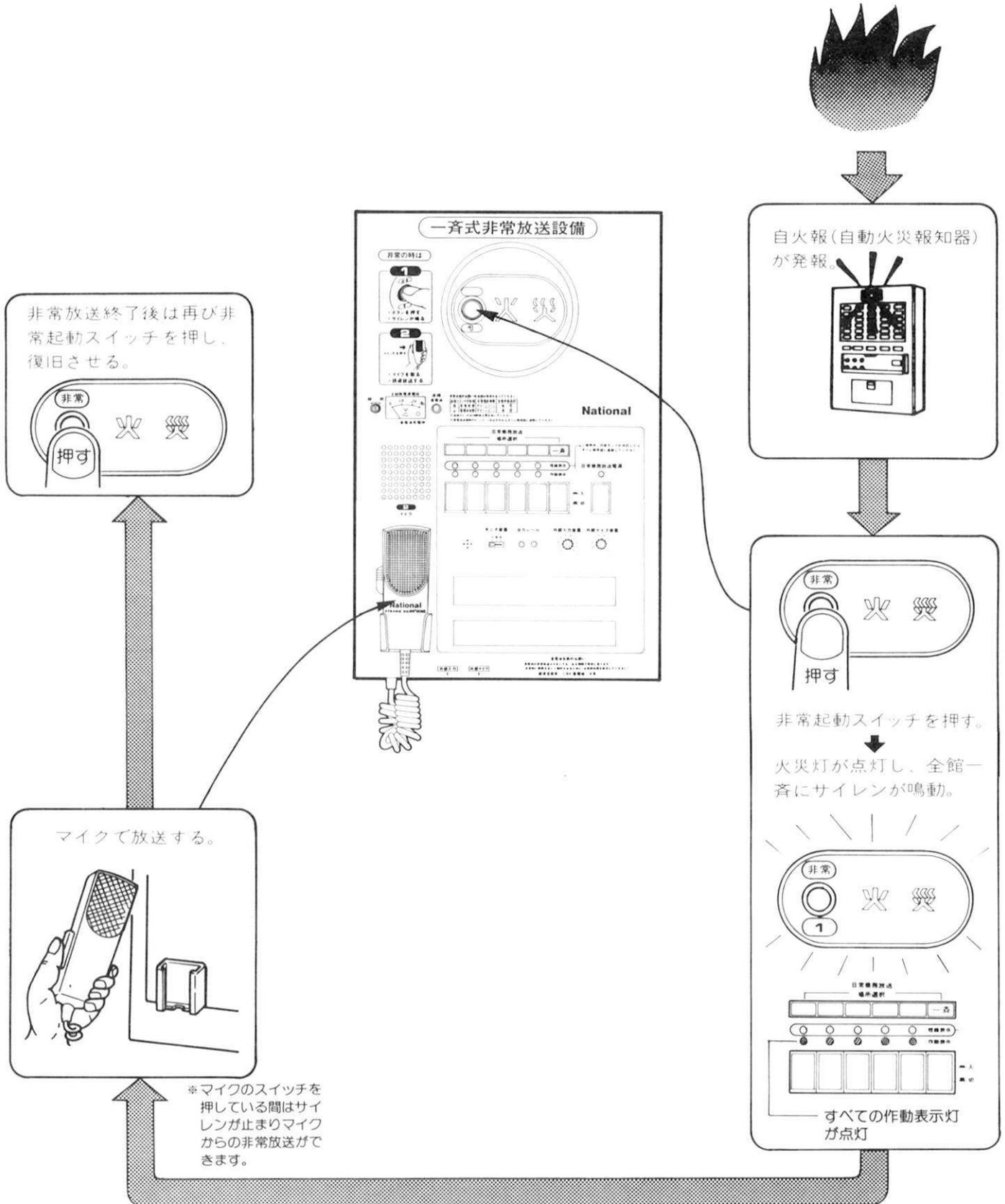
→ 細い矢印は操作部を示します。



■手動……自火報(自動火災報知器)が接続されていないときは手動になります。

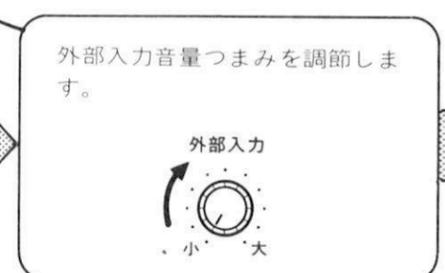
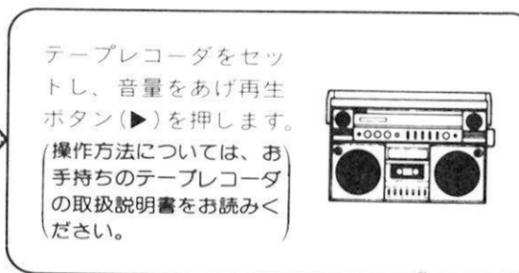
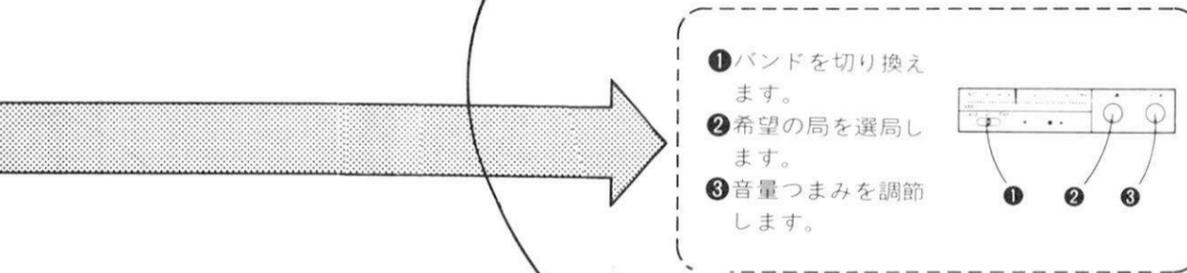
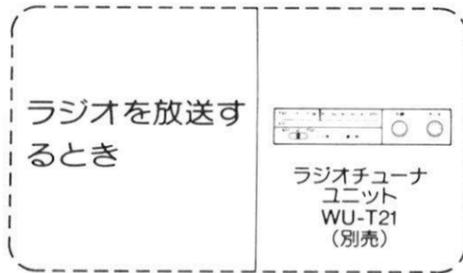
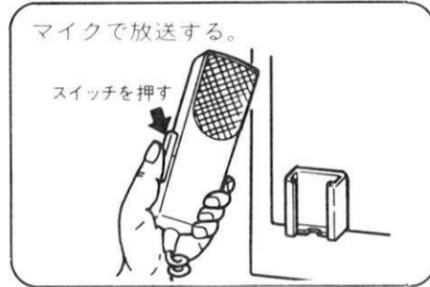
 太い矢印は操作の手順を示します。

 細い矢印は操作部を示します。

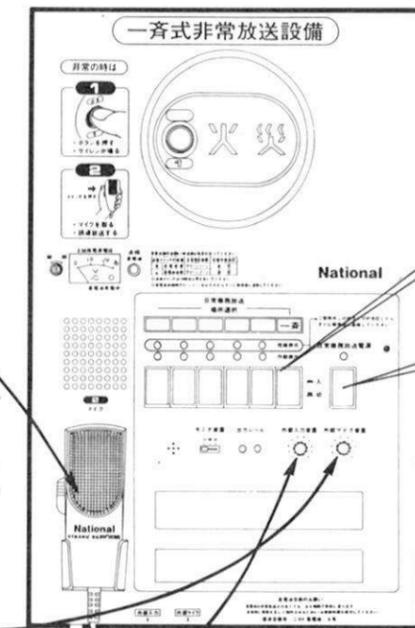


日常業務放送のしかた

太い矢印は操作の手順を示します。
細い矢印は操作部を示します。



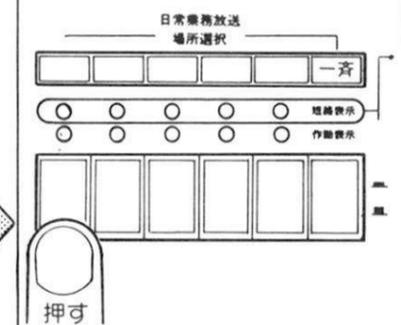
※各音量つまみは、出力レベル表示灯の“赤色の表示灯”が点灯しないように設定してください。



一斉放送するときは、一斉放送スイッチを押してください。
[アッテネータ(音量調整器)付スピーカーをご使用のとき、アッテネータ(音量調整器)がOFFの状態でも放送できます。]

- 操作の前に必ず“日常業務放送電源スイッチ”を押してください。“電源表示灯”が点灯します。
- 放送終了後は再び“日常業務放送電源スイッチ”を押してください。“電源表示灯”が消えます。

放送したい場所の選択スイッチを押します。



スイッチはロック式ですから、放送が終了したら再びスイッチを押して戻します。
[常時放送する場所はそのままセットしておく便利です。]

放送されます
(放送が終了したら、この逆に操作し、最後に日常業務放送電源スイッチを押します。)

放送の優先順位は9ページを参照してください。

日常点検

ご注意

万一の際、的確に機器が動作するよう日常点検をおこなってください。
日常点検時に異常を発見したときは、ただちに販売店または、保守契約店にご連絡ください。修理、復旧を実費でおこないます。くわしくは、販売店にご相談ください。



■点検のしかた

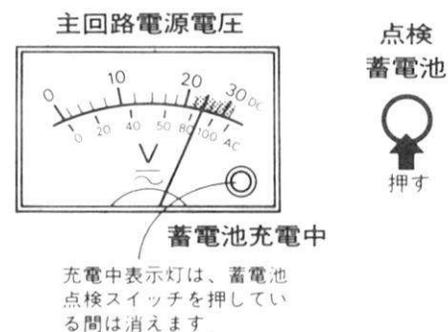
1. 常用電源電圧を確認してください。

蓄電池点検スイッチを押さない状態で、主回路電源電圧計の針がAC 90～110Vの範囲内であることを確認します。



2. 蓄電池電圧を確認してください。

蓄電池点検スイッチを押して、主回路電源電圧計の針が緑色(DC 21～31V)の範囲内であることを確認します。



充電中表示灯は、蓄電池点検スイッチを押している間は消えます。

ご注意

- 蓄電池点検スイッチは10秒以上押さないでください。蓄電池の寿命が短くなる恐れがあります。
- 主回路電源電圧計の針が緑色の範囲以下ときは、販売店または保守契約店にご連絡ください。

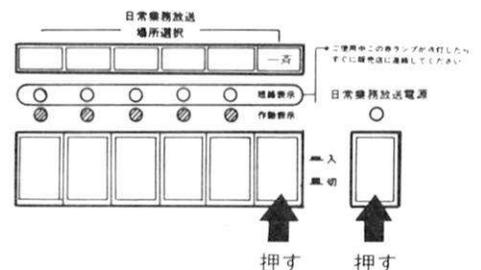
3. 充電中表示灯が点灯していることを確認してください。

- 蓄電池が充電中のとき点灯します。



4. 短絡表示灯が点灯していないことを確認してください。

- 放送電源スイッチおよび、一斉放送スイッチを押し、放送をしてください。スピーカ回線が短絡していますと、その場所の短絡表示灯は、放送音の大小により点滅または点灯します。
万一、点灯したときは、すぐに保守契約店または、販売店にご連絡ください。



■蓄電池の寿命について

- 交換時期を厳守してください。

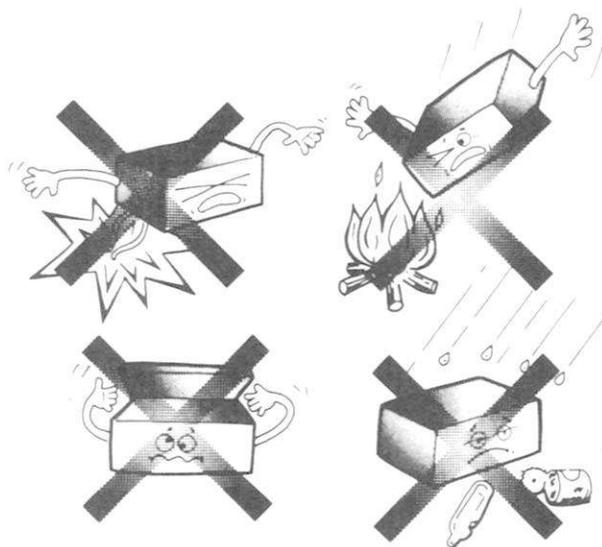
蓄電池は非常放送されなくても、寿命があります。定期点検の際に容量不足があれば、新品と交換してください。

非常時に機器を正しく動作させるために交換時期を厳守してください。

蓄電池の交換は危険ですから、販売店または、保守契約店にご用命ください。

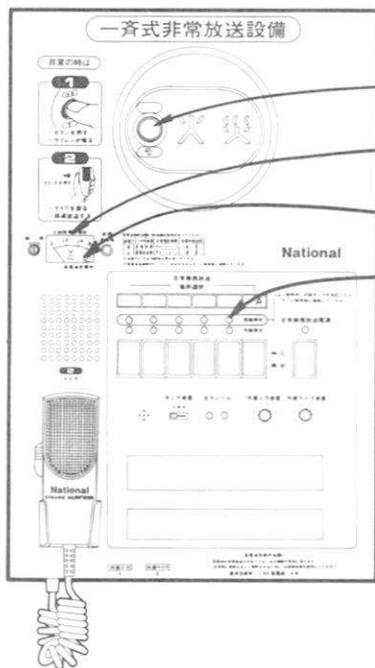
- 交換した蓄電池の取扱いは注意してください。

交換した蓄電池は、ショートしたり、火中に投げたりすると危険です。また、屋外に放置したり、内容物を露出させることも危険ですから絶対にしないでください。



■こんなときには

次のようなときはすぐに保守契約店または、販売店にご連絡ください。



- 非常起動スイッチを押しても火災灯が暗い。
- 常用電源電圧または、蓄電池電圧が主回路電源電圧計の緑色の範囲にない。
- 充電中表示灯が点灯しない。
- 短絡表示灯が点灯する。

保守契約のお願い

- 消防法により定期点検、消防署への報告および点検結果の維持台帳への記録が義務づけられています。
- 建物の規模、用途によっては消防設備士または、自治大臣が認めた有資格者が点検しなければなりません。
- ナショナルでは非常用放送設備が常に正しく動作するための保守点検業務を請負っています。ぜひ保守契約のご締結をおすすめします。
- 保守契約をしていただくことは、ご使用者にかわってナショナルグループの「消防設備士」・「消防設備点検資格者」が定期点検をお引受けするわけですから保証期間内であっても定期点検業務については有償となります。

点検整備 OKです。また定期的にまいります。日常点検をお忘れなく。



ありがとう。おかげで私共も安心しておれますよ。

アフターサービスについて

1. 保証書（別に添付してあります。）

保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受取っていただき、内容をよくお読みの後大切に保管してください。

保証期間……ご購入日から1年間です。

連絡していただきたい内容

- ご住所・ご氏名・電話番号
- 製品名・品番・ご購入日
- 故障または異常の内容(できるだけ詳しく)
- 訪問ご希望日

2. 修理を依頼されるとき

取扱説明書の「日常点検」をもう一度ご覧いただき、なお異常のあるときは、必ず電力増幅ユニットの電源スイッチを「OFF」にしてから、お求めの販売店にご連絡ください。保証書の記載内容により、販売店が修理いたします。

●保証期間中は

お求めの販売店にご連絡ください。保証書の規定に従って、販売店が修理いたします。

●保証期間が過ぎているとき

お求めの販売店に、まずご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

3. アフターサービスなどについて、おわかりにならないとき

お求めの販売店にお問合わせください。

放送の優先順位について

優先順位	スピーカの 放送 内容 接続機器	非常放送	業務放送	自動アナウンス放送	業務放送	業務外部放送
		1	非常マイクロホン (本体マイクロホン)	■		
2	サイレン	■				
3	一般マイクロホン (本体マイクロホン)		■		■	■
4	自動アナウンス			■		
5	一般外部機器 外部マイク 外部入力 リモコンマイク ラジオチューナユニット など					■

※ ■ はスピーカより放送されています。

定格・付属品

■ 定格

電 源	AC100V 50/60Hz, DC24V	操 作 部	主 回 路 電 源 計	常用電源電圧 (AC100V) 非常電源電圧 (DC24V) プッシュボタンロック切替式 蓄電池電圧			
消 費 電 力	Ⓢ : 57W 60W定格出力 : 150W		制 御 回 路	5局+一斉<手動式>			
警報時消費電流(平均値)	DC24V : 3.3A		作 動 表 示	選局時 緑色発光タイオード点灯			
入 力 回 路	周 波 数 特 性	50Hz~15kHz±3dB	作 部	短 絡 表 示	短絡時 赤色発生タイオード点灯 但し場所選択し 放送された時点灯		
	ひ ず み 率	1%以下		火 災 灯	起 動 信 号 受 信 時, 非常起動ボタン 操作時赤色発光タイオード点灯 「火災」の文字表示		
	外 部 マ イ ク	入力レベル 入力インピーダンス SN比 回路数	-64dB 600Ωに適合 平衡 50dB以上 1回路		負 荷 イ ン ピ ー ダ ン ス	100Vライン : 170Ω 70Vライン : 85Ω	
	外 部 入 力	入力レベル 入力インピーダンス SN比 回路数	-22dB 20kΩ 平衡 65dB以上 1回路		非 常 電 源 部	使 用 蓄 電 池	ニカドNCB-165 容量1650mA 5HR, 41mA
	自 動 ア ナ ウ ン ス (自動アナウンス ユニット組込時)	入力レベル 入力インピーダンス SN比 回路数	0dB 10kΩ 不平衡 70dB以上 1回路		充 電 方 式	ニカド蓄電池 : トリクル充電方式	
	ラ ジ オ チ ュ ー ナ (ラジオチューナ ユニット組込時)	入力レベル 入力インピーダンス SN比 回路数	-22dB 20kΩ 不平衡 65dB以上 1回路	外 部 制 御 端 子	非 常 起 動 入 力 (メ イ ク)	非常一斉	
非 常 用 マ イ ク 入 力	-55dB 600Ωに適合 不平衡 AVC付 (一般アナウンスと兼用) 周波数特性 100Hz~6kHz ±3dB		自 動 ア ナ ウ ン ス 入 力 (メ イ ク)		起動制御, 作動制御		
サ イ レ ン 周 波 数	400~1000Hz約5秒の繰返し (非常放送設備委員会統一音)		放 送 制 御 入 力 (メ イ ク)		電源「入」制御		
作 部	出 力 レ ベ ル 灯	2ポイント 発光ダイオード表示	非 常 接 点 (メ イ ク, プ レ イ ク)	メ イ ク 出 力 (オ ー プ ン コ レ ク タ) プ レ イ ク 出 力 (常 時 +24V)			
	モ ニ タ ス ピ ー カ	出力0.3W 8Ωアッテネータ付(1, 2, 3) ハウリング防止回路付	E B 接 点	無電圧メイク接点出力 (DC30V 1A)			
			寸 法	290(幅)×450(高さ)×124(奥行)mm (奥行はマイク, マイクホルダ含まず)			
			重 量	本体 : 約12kg ラジオチューナ組込時 : 約12.7kg 自動アナウンスユニット組込時 : 約12.8kg			
			仕 上 げ	マンセル 5Y 7.5/1近似色半つや 一部5YR3/2 近似色半つや スクリーン印刷			

■ 付属品

複式プラグ	1
非常用マイクロホン(本体接続済, 本体内部に収納)	1
マイクホルダ(本体内部に収納)	1
ね じ(本体内部にマイクホルダと共に収納) 2本	1
表示ラベル	1

スピーカー回線保護ヒューズ(0.5A, 本体取付済)	5
取付用型紙	1
分電盤注意ラベル	1

便利メモ(おぼえのため、記入されると便利です。)

ご購入年月日	年 月 日	品番 WK-705
ご購入店名		電話 () -
最寄りの当社ご相談窓口		電話 () -

松下電器産業株式会社
松下通信工業株式会社 AVシステム事業部
〒226 横浜市緑区佐江戸町600 ☎(045) 932-1231 (大代表)